



▲一つの作品を皆で作る楽しさは格別

紙しばいは、今年で三作目。何度も話し合っ  
て題材を決め、脚本、下絵書きと作業も結構複雑で時間を要しますが、一つの作品をみんなで作る楽しさ、完成したときの満足感は何ともいえないのと  
うお話。  
今年の作品は「弘法さんと河童<sup>かつば</sup>」とい  
完成した作品は、保育園や小学校で発  
表し、子供たちや先生に大変喜ばれてい  
ます。

江府町高校友の会「キャラボク」では  
高校生活の思い出に、町内に伝わる昔話  
の紙しばい作りに取り組んでいます。  
キャラボクは、中学校卒業後、同窓生  
が集まって交流や親睦を深める機会を作  
り、高校在学中に自立心や連帯感、社会  
参加の意識を高めようと昭和五十一年に  
結成されました。現在、全員百五〇名。  
紙しばい作りのほか、交流会、各種講座  
参加、ボランティアにと積極的に活動を行  
っています。

## 郷土の伝説を 紙しばいに



第197号

発行者  
鳥取県江府町  
電話江尾代75-2211  
編集 総務課  
印刷 (有)富士印刷

### 江府町の人口



(2月28日現在)

世帯数	1251世帯
人口	4894人
	(前月比 8人減)
(男)	2354
(女)	2540
出生	2
(男)	1
(女)	1
転入	3
(男)	3
(女)	0
転出	9
(男)	6
(女)	3
死亡	4
(男)	1
(女)	3

農業センサスの結果まとまる

# 農業従事者2,518人



▲白ネギは夏だいこんにつく特産品

## 専業は総農家数の10.9%

**農家数**  
 総農家数は、八  
 百四十二戸。  
 昭和五十五年より二十八戸、  
 十年前の昭和五十年より四十

昭和六十年二月一日現在で実施した農業センサスの結果が発表されました。農業センサスとは、五年に一回農業の実態を調査して、国や県、そして町の農政の指針に役立てているものです。この調査の農家は、田畑五<sup>〇</sup>以上を耕作、または過去一年間の農産物の販売額が十万円以上あるという農家です。

七戸減りました。  
 専・兼業別では、農業が主な兼業農家は、七十二戸減つて百三十八戸。専業農家は、総農家数の十・九<sup>〇</sup>。前回に

### 経営規模別農家数の推移

区分 年次 (昭和)	例外 規定	0.05	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0
		～ 0.3	～ 0.5	～ 1.0	～ 1.5	～ 2.0	以上
35年	1	112	108	399	273	52	10
40年	—	99	107	343	275	93	17
45年	—	107	94	322	259	103	28
50年	—	123	107	326	220	73	40
55年	—	123	118	328	177	81	43
60年	—	135	121	299	162	71	54

比べ三十四戸増加し、兼業の方がおもな農家への移行は十戸のみとなっています。

### 農業従事者

十年前の五十年の従事者は、男千三百六十四人、女千四百十八人でした。

今回は、男千二百四十七人、女千二百七十一人となり、十年間で二百六十四人減り、前回に比べて百七人減りました。また、年間を通じて百五十日以上従事する人は、この五年間に男三十七人、女二十四

### 一月町議会臨時会

一月二十二日、開催された町議会で「江府町多目的研修施設の設置及び管理に関する条例の一部改正」が原案どおり可決されました。

本町では、昭和五十六年三月条例制定以来、各事業により、地区集会施設を設置し、各施設の効果的運営管理に当たっていますが、昭和六十年度に地域農業拠点整備事業により、栗尾地区に集会施設を設置したので、同条例に追加するものです。

### 町長の行政報告

(二月町議会臨時会から)

### 総務

十二月十三日、教育委員会関係の施設及び備品の管理状況監査が行われました。

十二月二十一日から三十一日まで、年末の交通安全運動が全国いっせいに行われました。期間中、本町でも各種団体の協力を得て、街頭指導、パレード、サンタクローズ作戦

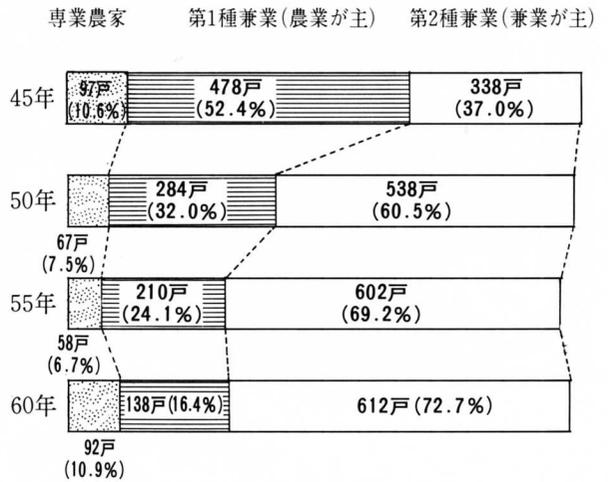
# 町 長 日 誌

## 1 月



- 4日(土) 仕事始め
- 5日(日) 新春マラソン大会
- 6日(月) 消防出初式、議会運営委員会
- 7日(火) 在勤
- 8日(水) 県立米子図書館協議会、消防団第1分団会議
- 9日(木) 商工会懇和会、江尾財産区会管理会
- 10日(金) 西部町村会、消防第2分団会議
- 11日(土) 本町1丁目公民館しゅん工式、町内弔問
- 12日(日) 江尾区自衛消防隊出初式
- 13日(月) 町内葬儀
- 14日(火) 大山山麓開拓事務所長来庁、建設課事業入札
- 15日(水) 成人式、高齢者顕彰式
- 16日(木) 農業委員会、建設課事業入札、町青年団来庁
- 17日(金) 国体宿泊施設感謝状贈呈式、国体実行委員会総会、国体解散式、大河原部落役員来庁
- 18日(土) 農協陳情会
- 19日(日) 江府町婦人大会
- 20日(月) 臨時町村会、中国電力(株)会議、町内弔問
- 21日(火) 日野病院CT導入祝賀会、西部広域正・副管理者会議、大山山麓開拓事務所長来庁
- 22日(水) 町議会臨時会、レストハウス完工視察、北条町議会視察来庁
- 23日(木) 在 勤
- 24日(金) 西部地区同和問題研修会、町内小中学校PTA来庁
- 25日(土) 総合計画審議会、本町5丁目行政座談会
- 26日(日) 農協婦人部家の光大会
- 27日(月) 予算査定、県農林部長来庁
- 28日(火) 予算査定、町内弔問
- 29日(水) 予算査定、町内葬儀
- 30日(日) 予算査定
- 31日(金) 江府町スキー大会、畜産経営者会議、中国電力俣野川発電所建設所長来庁

### 農家数の専・兼業別推移



人減少。十年間では、男女合わせて三百十一人減りました。

**農用機械** 農業経営の近代化・合理化に伴い、農用機械の普及は、いちじるしい伸びを示しています。個人所有の機械だけをみると、耕うん機・トラクターは、農家数八百四十二戸に対して千百三十一台で百三十四%、十年前より二百六十九台、五年前よりも九十五台増え、この十年間に一・三倍以上になっています。このほか田植機も四百三十九台で五年前の一・七倍に増えており、ほ場整備等の基盤整備と合わせ、

農業の本格的機械化時代をうかがわれます。

**耕地面積** 今回の経営耕地面積は、七百六十二畝で、前回の七百七十四畝に対し、十二畝減っています。耕地面積の内訳は、田五百八十一畝、畑百七十畝、樹園地十一畝となっています。経営規模別農家数では、一・五畝以上の耕地面積の農家が定着化しています。これは米作中心の農業から大根・白ネギ・ホウレン草などの高冷地野菜栽培と経営が多角化したこと、また機械化による合理化によるものです。

### 民生

等を展開し、交通安全意識の高揚に努めました。

一月十五日、成人式と合わせ、本年の高齢者顕彰を行い十九名の顕彰者を表彰して長寿をお祝いするとともに、家庭に対して介護年手当金を贈りました。

### 国体

一月十七日、日輪閣・土井之内会館で第四〇回国民体育大会江府町実行委員会総会並びに解散式が開かれ、関係者六十二名が出席しました。大会終了に伴い、江府町実行委員会は、昭和六十一年三月三十一日をもって廃止となります。

### 産 業

栗尾地区集会所施設及び簡易給水施設のしゅん工式が十二月二十六日、栗尾会館で行われました。

### 教 育

スキーシーズン開幕に伴い、十二月二十六日、奥大山スキー場でスキー場開き祭が行われ、町内小中学生、地元スキー

家庭・地域・職場での実践を強化しよう  
町同和教育研究集会



二月二十八日、土井之内会館で、「江府町における部落差別の早期解決をはかるために生活の中で実践活動をどのように進めたらよいか」をテーマに、町同和教育研究集会が開催され、二百五十人が参加しました。

大会では、学校・地域・職場での同和教育の状況発表と全体討議、午後は、「みんなを取り組む身近な同和教育の実践」と題して、愛知大学山本登教授の講演を聞き、熱心に研究・討議を行うとともに家庭・地域・職場ぐるみで同和教育問題解決にむけて積極的な実践活動を推進していくことを申し合わせました。



▲佐川集会所での伝達講習会

町民の健康づくりをすすめる事業の一つとして、昭和五十四年度から六年間、食生活

食生活改善協議会

健康づくりのおてつだい

改善講座が開かれ、修了生は九十名。現在、食生活改善推進協議会推進員として知識を地域に生かそうと、各地区の集会所で講習会を開いています。

活動の内容は、バランス食を主体に高血圧予防のための減塩食、貧血、肥満予防食など食事からくる疾病予防の指導と健康づくりのおてつだいです。

生命の根源である食事について、推進員さんと一緒に勉強してみませんか。

町長日誌

2月

- 1日(土) 道路公団所長来庁
- 3日(月) 予算査定
- 4日(火) 予算査定、俣野川発電所建設所次長来庁
- 5日(水) 西ノ島交歓スキー教室、東さぬき地区自然休養村事務組合視察来庁
- 6日(木) 在勤
- 7日(金) 民生委員会
- 8日(土) 宮市区会
- 10日(月) 県耕地課長来庁、宮市原行政座談会
- 12日(水) 西部町村会総会、定例会(米子市)
- 13日(木) 日野郡行政懇談会(日野町)、洲河崎部落役員来庁、町外弔問
- 14日(金) 東京出張  
(発電関係市町村全  
国協議会理事会)
- 15日(土) 江尾区役員来庁
- 17日(月) 転作配分区長会、道路公団協議会、町内弔問
- 19日(水) 県町村会総会(三朝町)
- 20日(木) 森林組合労務班研修会(米子市)
- 21日(金) 東京出張  
(ふるさと情報センター  
理事会)
- 23日(日) 町婦人会役員一泊研修(米子市)
- 24日(月) 在勤
- 25日(火) 総合計画審議会
- 26日(水) 在勤
- 27日(木) 日野町江府町日南町衛生施設組合議会臨時会(江府町)
- 28日(金) 町同和教育研究集会、尾上原部落役員来庁



ヤーが初すべりを楽しみました。

第九回新春マラソン大会が一月五日行われ、百五十人が参加。小学校低学年男女、小学校高学年男女、中学生男女、一般男子それぞれ第三位までにメダルと参加者全員に記録証を大会長より授与しました。

# 母子・父子家庭

## 卒業生を激励

三月三日、土井之内会館でこの春中学校を卒業する母子父子家庭の生徒三人の前途を祝福し、励ます会が関係者多数の出席により開かれました。

励ます会で井上町長は、戦国の武将山中鹿之介の「我に七難八苦を与えたまえ」の教えを説き、

「人生にはいろいろな苦労があります。その苦労を根性で受けとめ、勇気をもって乗り

越え、立派に自分の人生を歩んで下さい」と激励し、一人一人に自筆の色紙と記念品を贈りました。

これに対し、生徒を代表し下場哲君（江尾）が「皆さんのご期待や激励に報いるよう一生懸命がんばります」とお礼をのべた後、全員そろって母子会奉仕の昼食会で楽しいひとときを過ごしました。

▶謝辞をのべる  
下場哲君（江尾）



## 納税相談の合い間に 健康チェック

今年も所得税の確定申告の時期となり、江府町でも二月二十一日から十四日間にわたり納税相談が行われました。今年も、申告にこられる方たちにこの納税相談の合い間を利用して、健康チェックをしてもらおうと、保健婦による健康相談所を開設しました。待てば長い待ち時間、内容は血圧測定と問診だけですが納税相談会場の一角に設けられたこの健康相談：気軽で簡単となかなか好評でした。



・推進員 森田喜代

## 少しでも多くの人に 知識の伝達を



食生活改善の鍵をにぎるのは主婦であり、母親です。この度の佐川会場での講習会は、夕暮れの忙しい時間に手早くでき、しかも栄養のバランスのとれた献立の講習をしました。参加人員は、十名程度でしたが、皆さんに「また教えて下さい」と大変よろこんでいただきました。

食生活改善講座で学んで、家庭はもちろん、皆さんにアドバイスができ感激しています。今後も伝達の機会を増やし、地域に少しでも役立ちたいと思っています。

## 毛糸の帽子をプレゼント

### 下蚊屋婦人会

りたちに届けられ大変よろこばれています。

下蚊屋婦人会では、毎年、部落の敬老会でお年よりに手作りのプレゼントをしています。このたび、町内の身体の不自由なお年よりに暖かい冬を過ごしてもらおうと、会員が手わけして、手編みの帽子を作って、善意銀行に贈りました。

善意の帽子八枚は、さっそく家庭奉仕員によってお年よ





国民年金

四月から

# 保険料が変わります

国民年金の保険料は、昭和六十一年四月から一か月七、一〇〇円になります。また、付加保険料を納めている人は、一か月七、五〇〇円になります。

国民年金を支給する財源は、加入者の納める保険料と国の負担する国庫金でまかなわれていますので、加入者の適正な負担が必要となります。

保険料の額は、将来にわたって財政の均衡を保つことができないものでなければならぬため、昭和六十二年四月以降も毎年三〇〇円ずつ段階的に引き上げられることになっています。

なおこの保険料額については、前年に基礎年金が物価スライドによって引き上げられた場合はその率に

じて改定されます。保険料を未納にしておくと受給の際、年金がもらえなくなったり額が少なくなったりしますので月々きちんと納めましょう。

月々納めるのがめんどうな人には、割引きのある前納制度、また、保険料を納めることが困難な人には免除制度もあります。

詳しいことは、役場民生課国民年金係にお尋ねください。



## 人の動き



1 月 届

お誕生おめでとう

下安井 三輪綾子 貴恵 長女

ご結婚を祝します

喜美田 勇 米子市  
下垣 睦枝 美用から

ごめい福を祈ります

佐川 森谷孝松 85歳 明夫宅  
本一 八加部仁二 36歳 銀市宅  
佐川 住田政代 70歳 義光宅

### 善意銀行受払報告

1. 十二月末累計額 三百五十五万一千六百九十九円
  2. 一月中寄付額 四十一万円
- 内 訳
- 香典返し二十五万円
  - 快気祝 十六万円
  - 3. 一月末累計額 三百九十六万一千六百九十九円

本三 松尾ヨシ 83歳 寛宅  
御机 小椋すみえ 76歳 勉宅  
佐川 篠原正明 73歳 澄子宅  
一旦 長尾いそ 99歳 正一宅

ありがとう  
ございました

1 月中寄託分

本 (夫友一様ご逝去)  
本一 八加部銀市殿  
(3男仁一様ご逝去)

内祝として

香典返しとして

御机 小椋 勉殿  
(母すみえ様ご逝去)

佐川 篠原澄子殿  
(夫正明様ご逝去)

本三 松尾真吉殿  
(妻ヨシ様ご逝去)

貝田 森田 稔殿  
(養父勝史様ご逝去)

本二 永橋裕子殿  
(養母永井照子様ご逝去)

本五 川端一美殿  
(祖父括美様ご逝去)

佐川 森谷明夫殿  
(父孝松様ご逝去)

佐川 住田義光殿  
(母政代様ご逝去)

米子市 出原芳子殿

御机 川上 馨殿  
(ご本人様退院)

本二 山本政枝殿  
(ご本人様退院)

小江尾 篠田澄江殿  
(ご本人様退院)

荒田 藤原成雄殿  
(長男宏司様退院)

本二 徳岡福二殿  
(ご本人様退院)

本二 徳岡依子殿  
(ご本人様退院)

貝田 森田和正殿  
(ご本人様退院)

本四 手島三年夫殿  
(ご本人様退院)

新二 吉田 正殿  
(ご本人様退院)

下蚊屋 梅田万枝殿  
(ご本人様退院)

新道 山部政市殿  
(ご本人様退院)

一旦 宇田川まさよ殿  
(母いそ様百歳)

以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

江府町社会福祉協議会

保健婦からひとこと

体重は  
簡単にはかれる



健康のバロメーター

いつまでも寒い日が続きますが、みなさんの生活はどうでしょうか。規則正しい生活をしておられますか？それともこたつに入っばかりですか？当然そうなれば太ってきます。冬になれば太って困る、という声をよく聞きます。

60年度総合検診時の、太りすぎの人、の結果をまとめてみました。

年代別にみますと表のとおり、40代・50代の太りすぎが目立つようです。

□年代別・男女別にみた肥満者の比率

	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100%	
20歳 (7人)	25.9%		74.1%									
30 (21人)	28.0%		72.0%									
40	36.0%		64.0%									
男 (9人)	33.3%		66.7%									
女 (41人)	24.8%		75.2%									
50	31.1%		68.9%									
男 (27人)	15.7%		84.3%									
女 (71人)	15.3%		84.7%									
60	15.3%		84.7%									
男 (11人)	15.1%		84.9%									
女 (16人)	4.8%		95.2%									
70	14.3%		85.7%									
男 (1人)												
女 (3人)												

地区別にみますと、神奈川地区女性が町内ではもっとも太った方が多いようです。

太りすぎがいけないのは、単に「格好が悪いから」とか、「合う洋服がなくて不経済だから」という理由ばかりではありません。太りすぎは心臓や血管に余分な負担をかけ、高血圧、動脈硬化を招きます。その結果、脳卒中、心臓病、糖尿病という命にかかわる病気が起こりやすくなります。

体重は家庭において簡単にはかれる健康のバロメーターです。標準体重のめやすは(身長-100)×0.9です。あなたの体重がその数値の割以内ならば正常です。またプラス二割未満は軽い肥満で、プラス二割以上は肥満といわれています。太りすぎの人はまず、標準体重に近づけるよう注意しましょう。(石原)



人口と世帯

(1月31日現在)

総人口	4,902人
男	2,357人
女	2,545人
世帯数	1,251世帯

人の動き



2月届

お誕生おめでとう

本四 清水星弥 憲一 長男  
下安井 久木萌冬 厚二 二女

ご結婚を祝します

(永岡 久雄 大河原  
永岡みずほ 大河原から  
岡本 栄伸 西伯郡岸本町  
井上 里美 大河原から

ごめい福を祈ります

御机 川上かね 99歳 壽延宅  
御机 川上玉枝 67歳 憲司宅  
御机 岡ツエ 72歳 あき子宅  
貝田 藤岡博明 72歳 昭人宅

ありがとう

ございました

香典返しとして

一旦 宇田川正一殿  
(養祖母長尾いそ様逝去)  
御机 川上壽延殿  
(母かね様逝去)  
本二 木村悦子殿  
(母キヨノ様逝去)  
御机 川上憲司殿  
(母玉枝様逝去)

2月中寄託分

内祝として

新 山形好枝殿 (ご本人様退院)  
本 井竹伸一殿 (ご本人様退院)  
大 安田義一殿 (ご本人様退院)  
御机 川上春子殿 (ご本人様退院)  
本 藤田幸義殿 (ご本人様退院)  
本 岡田繁富殿 (ご本人様退院)  
佐 川松波照正殿 (ご本人様退院)  
本 一 中野辰美殿 (ご本人様退院)  
栗 尾末次 堅殿 (ご本人様退院)

特別寄付

下蚊屋婦人会  
帽子 八枚

以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

江府町社会福祉協議会

善意銀行受払報告

1、一月末累計額  
三百九十六万一千六百九十九円  
2、二月中寄付額  
二十四万円  
香典返し 十三万円  
3、快気祝 十一万円  
4、雑入 七十六円  
5、支出額 五千四百九十円  
6、二月末累計額 四百二十二万八千四百五十五円